

第2回中国・四国地区医学生学術交流会

徳島大学MD-PhDコースにおける 研究活動と今後の展望

徳島大学医科学教育部 3 年

精神医学教室

西 晃

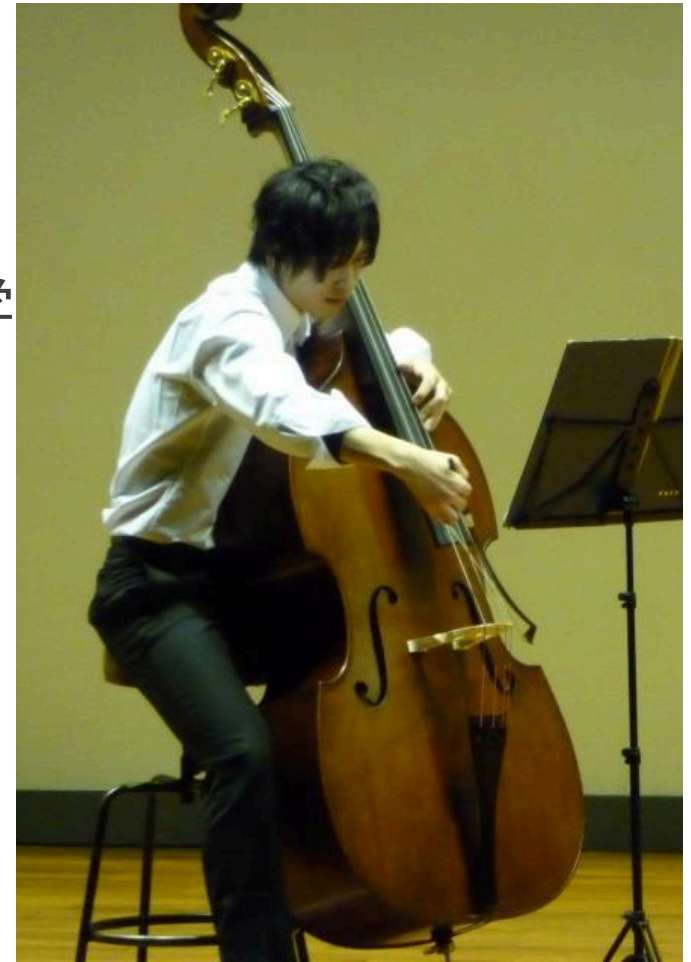


自己紹介

1989年 兵庫県神戸市に誕生

2008年 徳島大学医学部医学科に入学

2012年 徳島大学MD-PhDコースに進学



MD-PhDコースとは何ぞや

通常のカリキュラム

1年次 一般教養



2,3年次 基礎医学
組織学、生理学、解剖学、薬理学 etc...



4年次 臨床医学
循環器、消化器、呼吸器、小児科 etc...



5,6年次 クリニカルクラークシップ

MD-PhDコースとは何ぞや

MD-PhDコースのカリキュラム

1年次 一般教養



2,3年次 基礎医学
組織学、生理学、解剖学、薬理学 etc



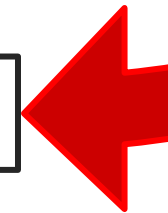
4年次 臨床医学
循環器、消化器、呼吸器、小児科 etc...

5,6年次 クリニカルクラークシップ

合計9年間の
学生生活ですな！

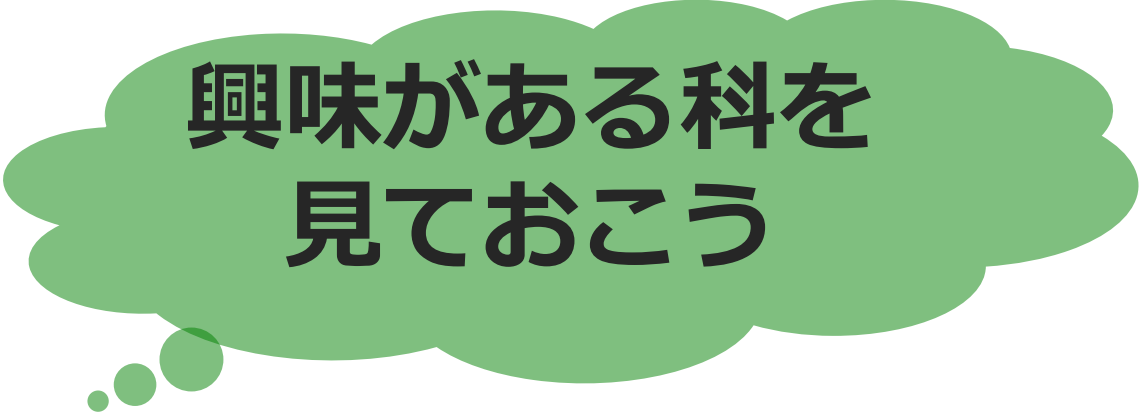


大学院入学
3年間の
研究活動



MD-PhDコースとは何ぞや

もともと精神科医になりたいと思い医学部を志す。
徳島大学で3年次に行われる研究室配属の際、



**興味がある科を
見ておこう**

というかる〜い気持ちから精神医学の教室を選択。



結果

精神医学における研究の大切さを感じ、
できるだけ早く研究に関する手技、知識を身
につけたいとMD-PhDコース進学を決める

なぜ精神医学において研究が重要なのか

精神疾患と言えは？

うつ病

双極性
障害

統合
失調症

摂食
障害

ADHD

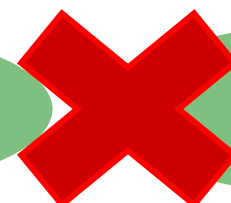
自閉症

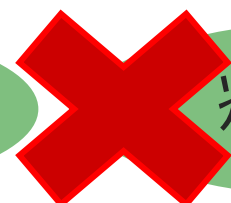
強迫性
障害

認知症

精神疾患はどうやって診断される？

 血液検査

 画像診断

 病理診断

なぜ精神医学において研究が重要なのか

問診



**研究による科学的根拠の追求、発症メカニズムの解明、
またそれに対する考察の姿勢が必要なのではないか**

大学院で行った研究

統合失調症患者における血中ホモシステインとその代謝経路に関わる*MTHFR*遺伝子の一塩基多型に関する研究

Schizophrenia Bulletin Advance Access published February 17, 2014

Schizophrenia Bulletin

doi:10.1093/schbul/sbt154

Meta-analyses of Blood Homocysteine Levels for Gender and Genetic Association Studies of the *MTHFR* C677T Polymorphism in Schizophrenia

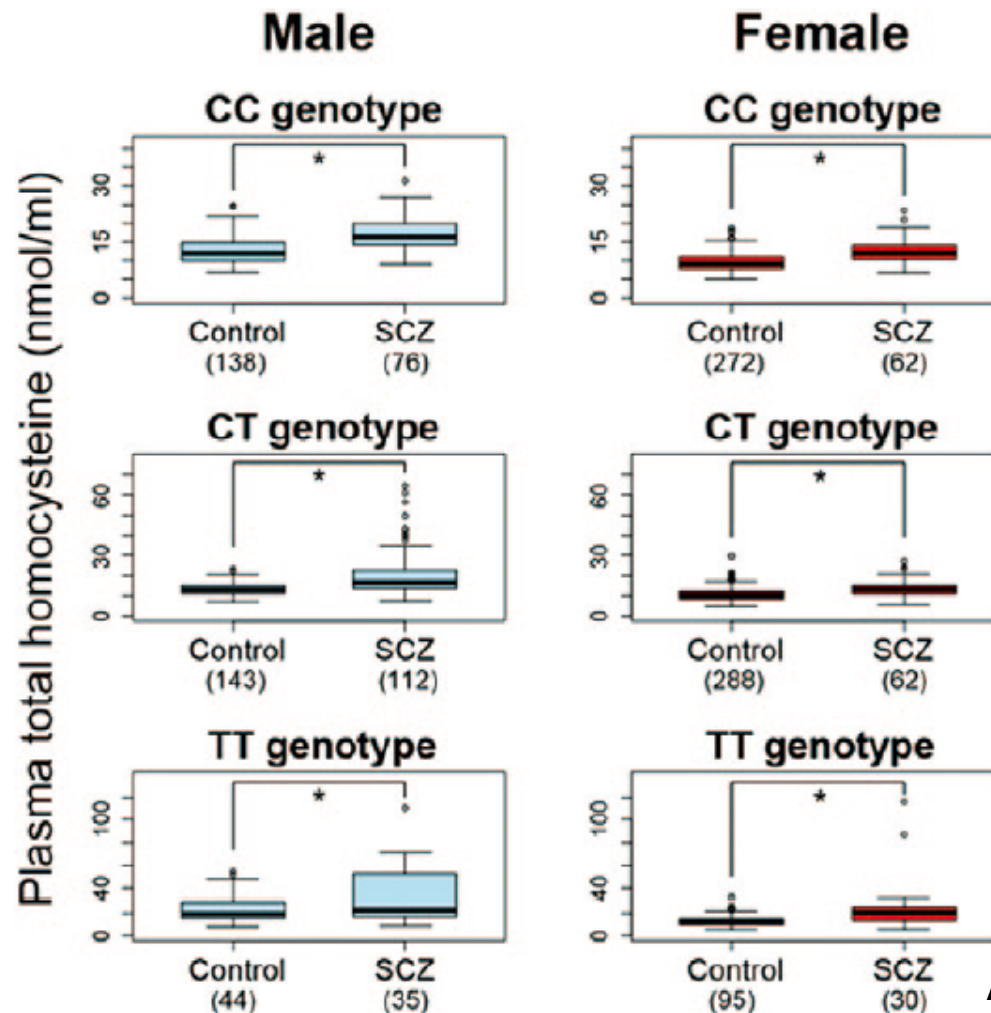
Akira Nishi¹, Shusuke Numata^{*,1}, Atsushi Tajima², Makoto Kinoshita¹, Kumiko Kikuchi¹, Shinji Shimodera³, Masahito Tomotake⁴, Kazutaka Ohi⁵, Ryota Hashimoto^{5,6}, Issei Imoto², Masatoshi Takeda⁵, and Tetsuro Ohmori¹

¹Department of Psychiatry, Course of Integrated Brain Sciences, Medical Informatics, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School, Tokushima, Japan; ²Department of Human Genetics, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School, Tokushima, Japan; ³Department of Neuropsychiatry, Kochi Medical School, Kochi University, Kochi, Japan; ⁴Department of Mental Health, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School, Tokushima, Japan; ⁵Department of Psychiatry, Osaka University Graduate school of Medicine, Osaka, Japan; ⁶Molecular Research Center for Children's Mental Development, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Osaka, Japan

*To whom correspondence should be addressed; Department of Psychiatry, Course of Integrated Brain Sciences, Medical Informatics, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School, 3-8-15 Kuramoto-cho, Tokushima 770-8503, Japan; tel: 81-886-33-7130, fax: 81-886-33-7131, e-mail: shu-numata@umin.ac.jp

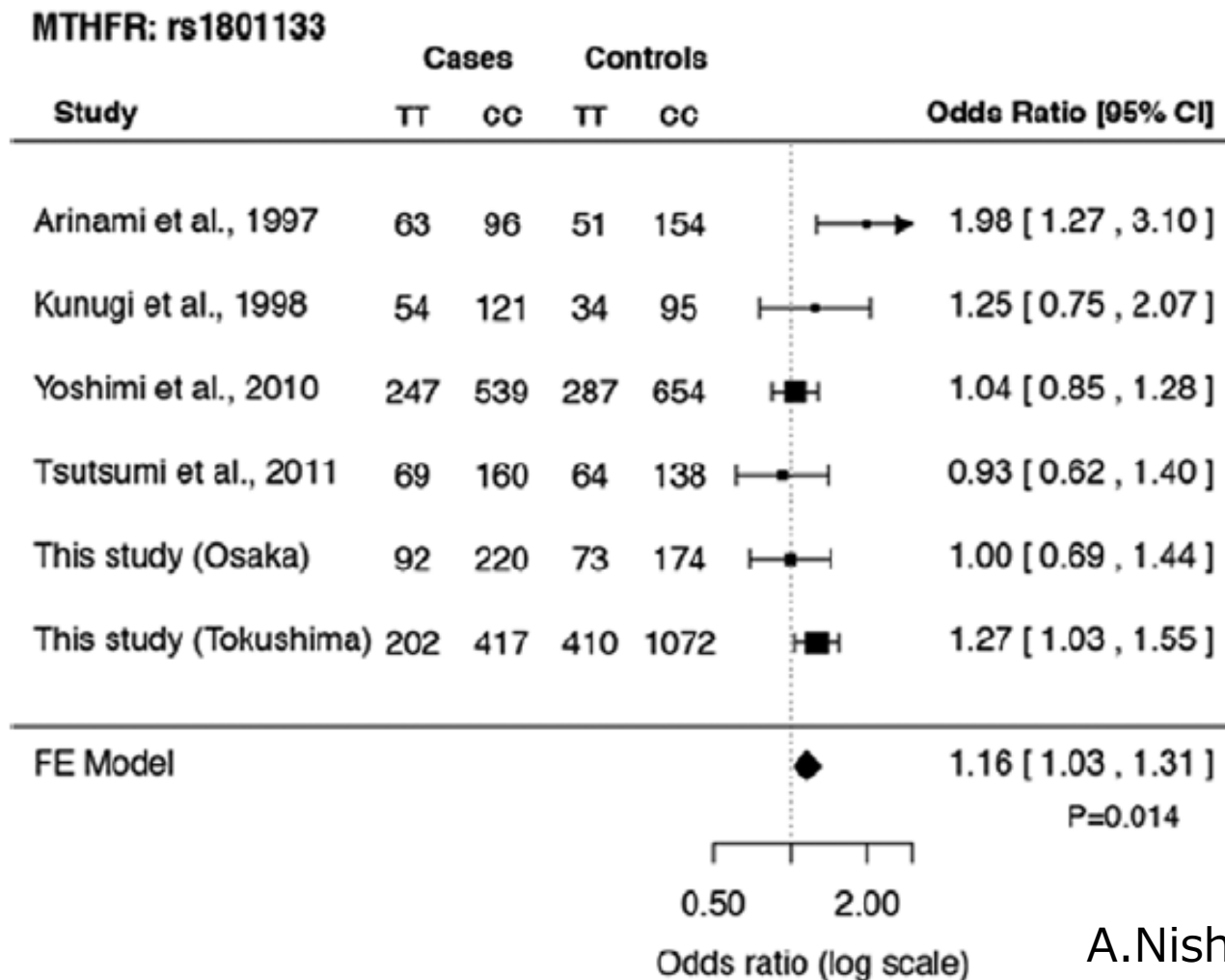
大学院で行った研究

性別や年齢などが影響を与えることが示唆されていたホモシステイン濃度について、それらの要素を考慮しても、患者群で有意に上昇していることが分かった。



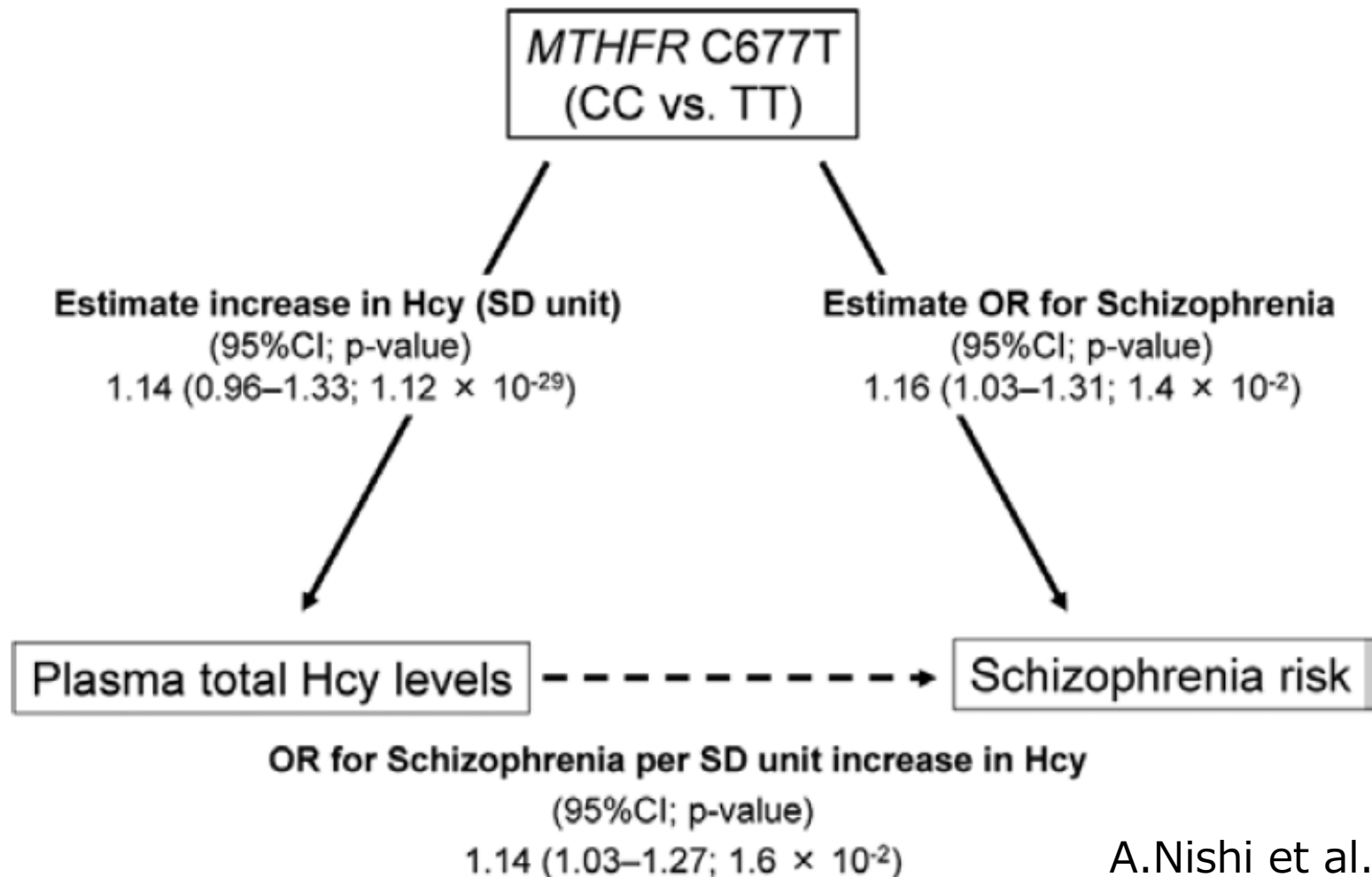
大学院で行った研究

疾患との関連について過去の報告が一致していなかった *MTHFR* のSNPについて、過去の日本人研究を含めたメタ解析によって、疾患との有意な関連を示した。

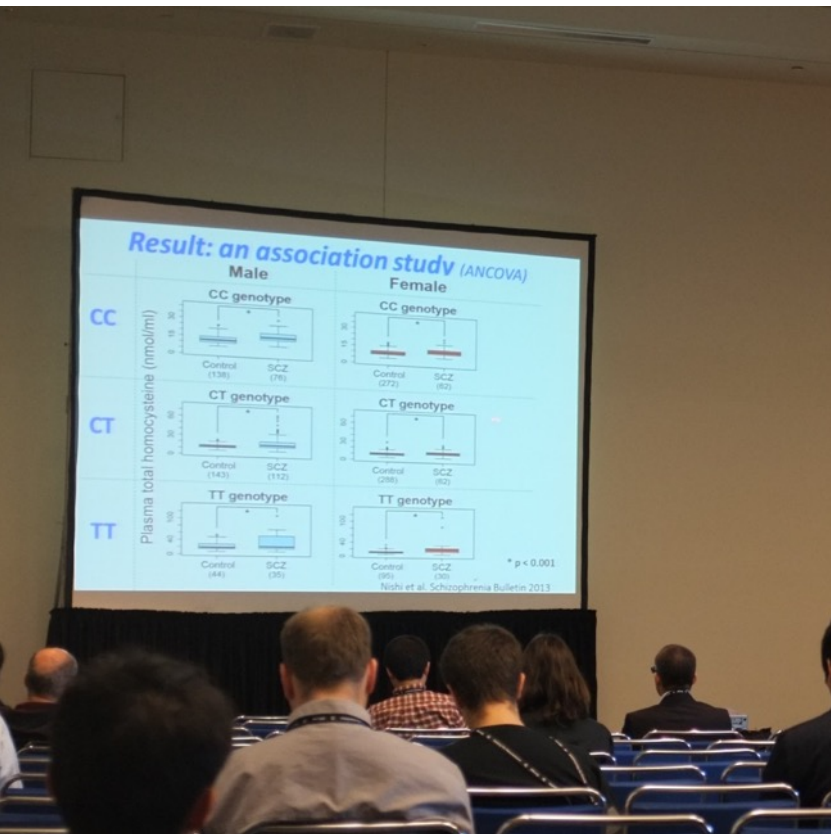


大学院で行った研究

疾患と現象との因果関係を示しにくい観察研究について、Mendelian Randomization解析を用いて、ホモシステイン濃度と統合失調症との因果関係について考察した。



大学院で行った研究



約 1 年間のアメリカ留学



EINSTEIN

Albert Einstein College of Medicine
OF YESHIVA UNIVERSITY

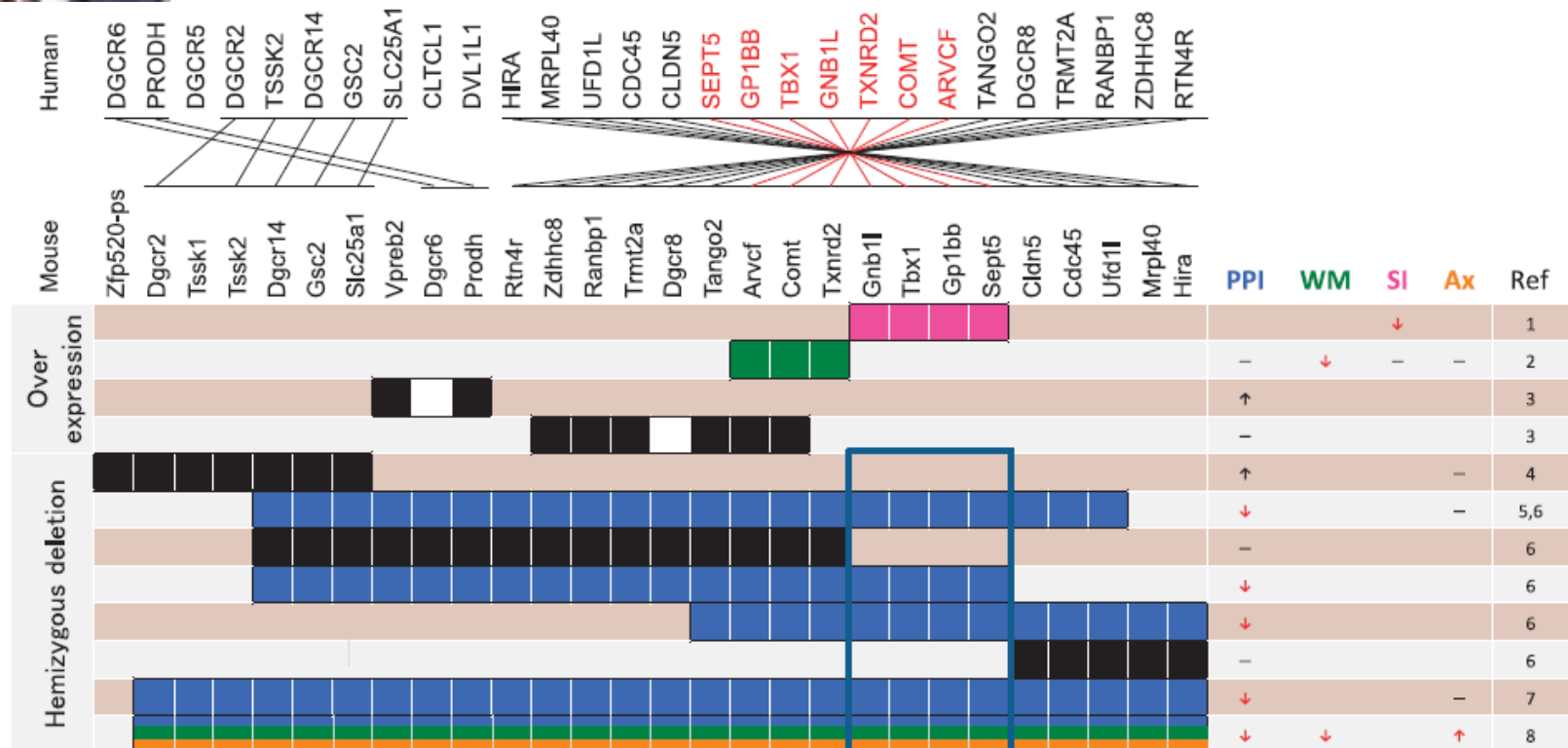
約 1 年間のアメリカ留学



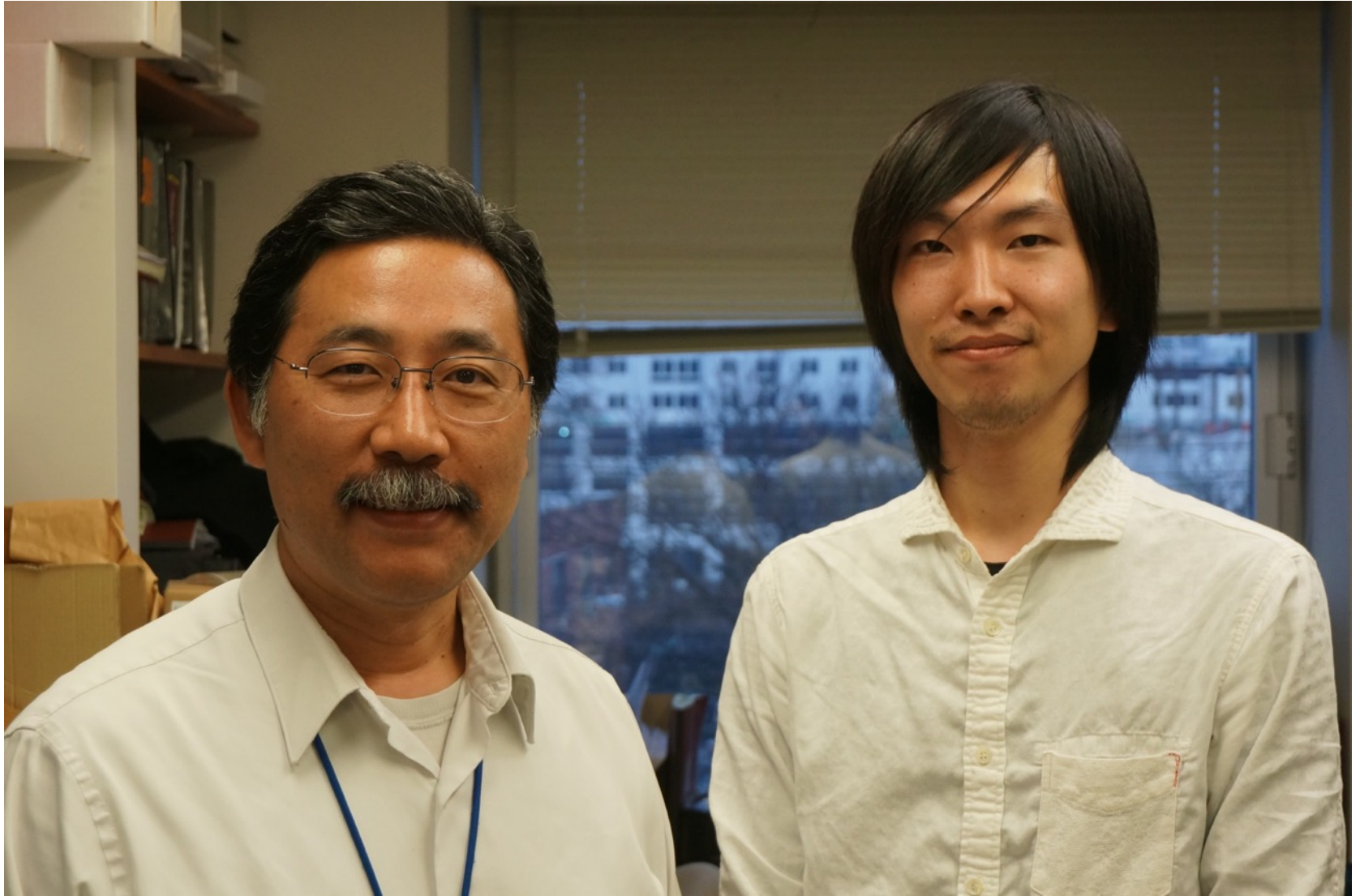
Noboru Hiroi, Ph.D.

**Albert Einstein College of Medicine
Professor, Department of Psychiatry and Behavioral
Sciences**

N.Hiroi et al., 2013



約 1 年間のアメリカ留学



約 1 年間のアメリカ留学



約1年間のアメリカ留学



3年間の大学院生活を振り返って

- ☆意外とあっという間。
- ☆研究を通して臨床の大切さを知る。
- ☆可能性が広がった。
- ☆キャリアデザインは人それぞれ。

謝辞

☆徳島大学 統合生理学分野
勢井 宏義教授

ご清聴ありがとうございました。



すだちくん